

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AE224／教育調査実習 4a (Survey and Field Study in Education 4a)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「アート」をてがかりに、日常を批判的にリサーチしよう		
担当者名 (Instructor)	渡辺 哲男(WATANABE TETSUO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

「アート art」は、私たちの既存の価値観を問いなおす力をもっている。こうした問い直しは、ともしれば自明視してしまう日常に疑いの眼差しを向ける研究の営みと重なり合う。この授業では、「アート」をてがかりにしながりサーチの基礎を学んでもらう。

Art art has the power to rethink our existing values. This rethinking of questions overlaps with the practice of research that looks askance at everyday life, which is often seen as self-evident. In this class, students learn the basics of research using art as a starting point.

授業の内容 (Course Contents)

- 1) 実際にミュージアムを訪問し、自分の体感したことをレポートする。
- 2) 各授業回で行われるワークショップから、日常を批判的に観察する視点を養う。
- 3) 他者理解、自己理解について学び、インタビュー調査などに生かす。
- 4) 授業で学んだことを生かして自らワークショップを企画、運営する。

- 1) Students actually visit the museum and report what they experienced.
- 2) Students will develop a perspective of critically observing daily life from the workshops held in each class.
- 3) Students learn about understanding others and self-understanding, and use it for interview surveys.
- 4) Students plan and manage their own workshops by making use of what they have learned in class.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 受講者同士の「出会い」のレッスン(1):ワークショップを経験してみよう!
3. 受講者同士の「出会い」のレッスン(2):ワークショップの振り返り
4. 「観察すること」「記録すること」のあいだ
5. ミュージアムの体験レポート報告
6. 路上観察ワークショップ(1):道ばたにひそむアート
7. 路上観察ワークショップ(2):何かに手を加えてアートにする
8. ゲストスピーカーによる講義・その1(学芸員をお招きする予定)
9. ゲストスピーカーによる講義・その2(アーティストをお招きする予定)
10. 作品の制作過程を演劇的に想像／創造するワークショップ(1):制作過程の構造化
11. 作品の制作過程を演劇的に想像／創造するワークショップ(2):グループ毎の発表
12. 学生によるワークショップ(1):グループ1
13. 学生によるワークショップ(2):グループ2
14. 学生によるワークショップ(3):グループ3、授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

コロナの状況にもよるが、ミュージアムにあまり行ったことがないという人は、授業開始前、あるいは開始後早い段階でミュージアムに一度足を運んでもらいたい(参観報告をしてもらう予定)。そして全授業終了後、改めてミュージアムに足を運んで、自分の世界の見方がどのように変わったかを確認して欲しい。履修人数によって学生のワークショップの回数は変更する可能性がある。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%) / 授業時間中、事前事後の課題(50%)
欠席が4回になった時点でD評価。出欠の詳細は初回の授業で説明する。

テキスト(Textbooks)

適宜資料を配付する予定。

参考文献(Readings)

1. 麻生武、2009、『「見る」と「書く」の出会い:フィールド観察学入門』、新曜社 (ISBN:9784788511767)
 2. 渡辺哲男ほか編、2019、『言葉とアートをつなぐ教育思想』、晃洋書房 (ISBN:9784771031623)
 3. 森村泰昌、2019、『自画像のゆくえ』、光文社新書 (ISBN:9784334044374)
 4. 奥野克巳ほか編、2018、『Lexicon 現代人類学』、以文社 (ISBN:9784753103447)
 5. 小笠原喜康、2015、『ハンズ・オン考:博物館教育認識論』、東京堂出版 (ISBN:9784490209198)
 6. ミハエル・パーモンティエ(眞壁宏幹訳)、2012、『ミュージアム・エデュケーション:感性と知性を拓く想起空間』、慶應義塾大学出版会 (ISBN:9784766419672)
 7. 吉井仁実、2021、『〈問い〉から始めるアート思考』、光文社新書 (ISBN:9784334045814)
- その他の文献は適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)